



舞鶴医療センター便り

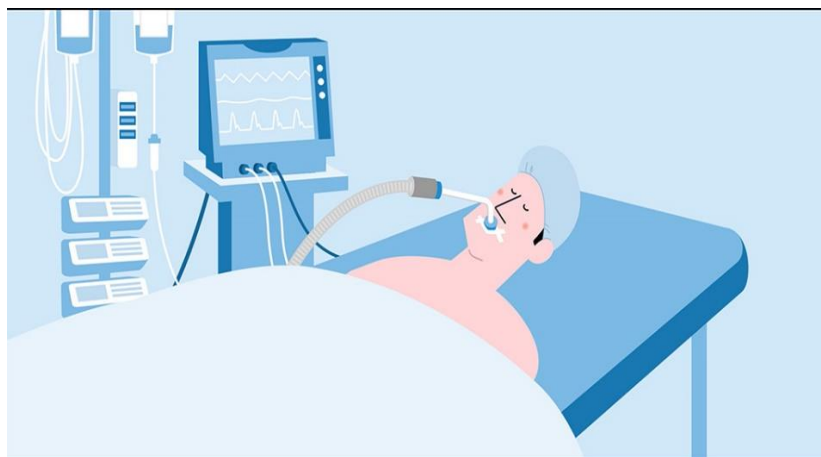
麻酔について

手術や検査を受けるときには、痛みや不安などの様々なストレスが発生します。安全に手術を受けていただくために、麻酔科医が手術前に全身状態をチェックし、手術中は麻酔を含めた全身管理を行います。手術や患者様の状態に応じて、最も安全と考えられる麻酔方法で手術を受けていただきます。

麻酔の種類

◆ 全身麻酔

手術室に入室後、麻酔薬や鎮痛薬を手術が終わるまで投与します。意識は無くなり完全な無痛の状態となります。その間、麻酔薬の効果により呼吸が弱くなってしまうので、意識のない間に呼吸をするための管を口や鼻から気管の中に入れ、人工呼吸器でしっかり呼吸をしていただきます。手術終了後は麻酔薬をやめることで目が醒めていきます。体の状態が安定していれば呼吸をする管を取り、その後病室に戻ります。



◆ 脊髄くも膜下麻酔

腰椎麻酔や下半身麻酔とも言われています。下肢や下腹部の手術の麻酔でよく行います。横向きに寝ていただき、専用の細い針を使って麻酔の注射を行います。麻酔がどの辺りまで効いているかを冷たいもので触って確認をした後、問題なければ手術を始めます。麻酔の効果は4～6時間続きます。

◆ 硬膜外麻酔

全身麻酔や脊髄くも膜下麻酔と併せて行う事が多い麻酔です。横向きに寝ていただき、硬膜外腔という脊髄の外側のスペースに背中から細いカテーテル(管)を入れます。局所麻酔薬を入れることで手術の影響を受ける部分の神経に作用し、痛みがとれるという仕組みです。術後はお薬が入ったボトルを付けて病室に戻っていただき、数日間持続的にお薬が注入されるようになっています。カテーテルはとても細くてやわらかいので、違和

感はほとんどなく、仰向けに寝ることも可能です。



手術が決定してから麻酔を受けるまでの流れ

① 各科にて

手術決定、術前検査(心電図、胸部 X 線検査、血液検査、呼吸機能検査など)

② 麻酔科にて

診察、問診、麻酔の説明を行い、同意書にご署名をいただきます。

患者様が未成年、高齢者、重度の合併症を指摘されている場合には必ずご家族に同伴していただきます。

ただし、緊急手術の場合は手術・麻酔を行う上で必要最低限の検査を行います。

手術の前に守っていただきたいこと

・絶飲食

麻酔の前には食事と水分を制限する必要があります。胃の中に内容物がある状態で麻酔をすると、嘔吐したものが肺の中に入ってしまう、誤嚥性肺炎を起こす危険があります。

・禁煙

手術が決定したら必ずやめましょう。禁煙できていないと、術中に痰が増えて肺が膨らみにくくなったり(無気肺)、肺炎になったり、術後に咳や痰が多くなったりします。

・グラグラしている歯がある場合

全身麻酔で気道確保をする際に、歯が脱落してしまう可能性があります。かかりつけの歯科医院で診てもらいましょう。

* 丸石製薬さんのサイトに麻酔の詳しい説明がありますのでよろしければご覧ください。



患者さんご自身をご覧いただく場合

動画だけでなく、
解説をテキストでも
ご覧いただけます!



[https://www.maruishi-pharm.co.jp/
public/anesthesia/](https://www.maruishi-pharm.co.jp/public/anesthesia/)